

原発利権との闘いを描く 織江耕太郎、骨太の書き下ろし900枚！



「標的は……根っこだな。日本という国」

原発によって最愛のものを奪われた、5人の男たち——。都心のナイトクラブ《キアロスクーロ》に巣食い、原発利権をむさぼる政治家、官僚、財界、マスコミ、そして電力資本の暗部を告発し、復讐を誓った彼らの命運は……？

3・11へと至る日本の戦後を支配してきた原発利権が、ついにフィクションとして描かれた。この意味は大きい。

——鈴木邦男（一水会最高顧問）

書名：キアロスクーロ

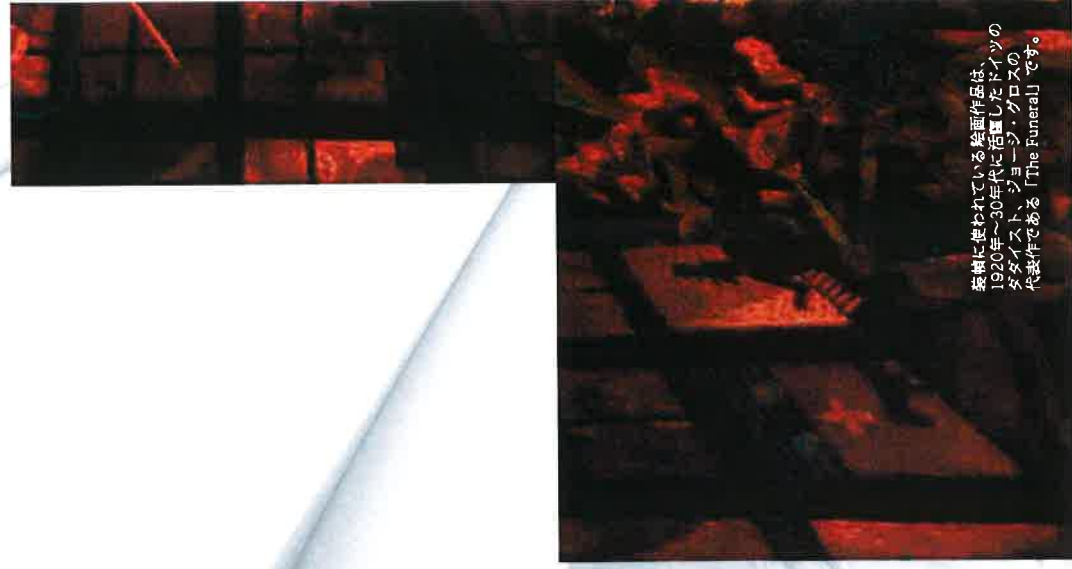
著者：織江耕太郎

出版社：水声社

定価：2800円＋税

目次：	第一章	告発文書	遺言
	第二章	平成21年	出会い
	第三章	昭和50年代	負の記憶
	第四章	平成21年	共鳴
	第五章	前夜	
	第六章	事件	
	第七章	業火	
	終章	昭和86年	波濤

全国の書店及びAmazon、楽天等のネット書店にて
お求めいただけます。



装幀に使われている絵画作品は、
1920年～30年代に活躍したドイツの
ダダイスト、ジョージ・グロスの
代表作である「The Funeral」です。